

アアんと私し

木下 紗良

私は電気がなかった頃を知らない世代です。生まれてからずっと電気はあって当たり前のものだと思っていました。しかし、数年前に東日本大震災が起こり、私の住む東京も節電が呼ぶがけられました。私にとって電気が当たり前前に使えな生活を経験するのは初めて、町がほんのりと薄ぐらかったことを今でも憶えています。

最近の節電という言葉もあまり耳になくなりました。しかし、改めて電気が何だとうと考えたとき、私は人とをつなぐものだと思います。例えば、友達とスマホでメッセージやメールをしたり、家族と明かりのもとでの団欒、同じテレビを見て話題を共有し合うことなど電気がなければできません。そう考えると、電気はただ便利なだけではなく、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションツールとして欠かせないものだと思います。

あまりにも身近にありすぎて気が付かないも
のは他にもあるのかもかもしれません。そんな大
切なことを電気というものを考えながらさが
してみたいと思います。